

※この「NEWSおりお」は折尾地区総合整備事業の進捗状況等を地域の皆様にお知らせするため発行しています。

折尾地区総合整備事業は、学園都市としての魅力あるまちづくりのため、また、北九州学術研究都市の玄関口にふさわしい交通拠点の形成のため、折尾地区の交通環境の改善や交通結節機能のさらなる向上、駅南側の住環境の改善、まちの一体化などに取り組み、折尾地区を広域拠点として再構築を図ります。

本事業は、鉄道の高架化を行う「連続立体交差事業」、幹線道路の拡幅や駅前広場の整備を行う「街路事業」、住環境の改善を図る「土地区画整理事業」の3つの事業を一体的に行うもので、令和7年度（2025年度）の完了を目指して事業を進めています。

折尾駅新駅舎について

令和3年1月2日（土）、大正5年当時の姿を再現した折尾駅舎が開業します。



工事中の折尾駅舎（令和2年10月末時点）

新駅舎のデザインについて

新駅舎のデザインは、地域の方々の要望を受け、市とJR九州が連携して検討を進め、平成24年10月に公表した「折尾駅舎の保全・活用に向けた基本的な考え方」に沿って、整備しました。

- ・ 構造や部材等の調査を行い、歴史資料とともに記録を整理・保存する。
- ・ 大正5年当時の駅舎の外観については、可能な限り再現する。
- ・ 駅舎のシンボリックな部材については、保存・復元を基本とする。

新 駅 舎 の 特 徴 に つ い て

○旧駅舎外観の再現

解体時の調査結果を基に、周辺の景観を考慮しつつ、大正 5 年当時の姿を再現しました。



▲昭和 9 年『鉄道記念写真帖』
しやしんちよう



▲解体前の駅舎



▲平成 24 年公表イメージ図

○駅舎のシンボリックな部材

折尾駅舎を象徴するシンボル部材を一部補修し、復元を行っています。

解体時に既に撤去等していた大正当時の部材についてはレプリカを作成し、再現しています。



▲棟飾り



▲円形ベンチ、化粧柱
(令和 2 年 8 月まで折尾出張所に展示)

○内観について

駅前広場と改札を繋ぐ駅舎の内観は旧折尾駅舎の待合室をイメージしました。



▲旧駅舎の待合室



▲新駅舎の待合室 (イメージ)

○立体交差の歴史の伝承

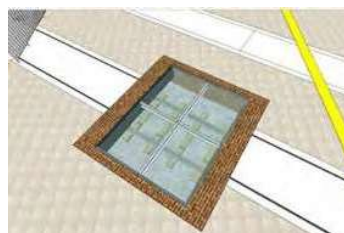
日本初の立体交差が折尾にあったことを後世に伝えるために、

- ・実際に筑豊本線で使用していたレールと枕木の展示
- ・事業着手前の立体交差があった時代の航空写真
- ・立体交差が分かるレール跡の明示

を設置します。



▲日本初の立体交差



▲レールと枕木の展示 (イメージ)



▲新折尾駅構内 (イメージ)

令和3年1月2日 始発便より 折尾駅『新駅舎』がオープン!! 改札口的位置が変わります

折尾駅の新駅舎オープンに伴い、改札口までの歩行者通路が大幅に変わります。折尾駅をご利用の皆様には、工事期間中において、ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【主な変更点】

- 現在の〔西口〕〔東口〕〔北口〕の改札口は閉鎖し、新駅舎の改札口に統一します。鷹見口改札は、これまで通り利用できます。
- 改札口の変更に伴い、改札口への歩行者通路が変わります。

※特に、西口バス停や、東口(駅南側)付近、国道3号方面からのルートが大きく変わりますので、ご注意ください。

折尾駅周辺 歩行者通路 案内図



○折尾駅構内案内図 (R3.1.2～)



折尾駅が新しくなり、これまでのエレベーターに加え、エスカレーターが新たに設置されます。また、筑豊本線と鹿児島本線が連絡通路を通して、スムーズな移動ができるようになります。

○駅構内のバリアフリー設備

***新しくなった鹿児島本線のコンコース**



お願い

折尾地区総合整備事業で、都市計画決定している道路や土地区画整理事業の区域内において、建築物の建替えや新築、増築等を行う場合は、都市計画法や土地区画整理法による許可が必要です。計画のある方は、事前にご相談いただきますようお願いいたします。

また、土地建物の売買や相続で権利の変更がある場合も、ご連絡をお願いします。

お問い合わせ先

北九州市 建築都市局 折尾総合整備事務所

住所：807-0874 北九州市八幡西区大浦二丁目13番7号

事業調整課

TEL 093-602-3108

整 備 課

TEL 093-691-2522

/FAX 093-602-3128

e-mail : toshi-jigyouchousei@city.kitakyushu.lg.jp

折尾地区総合整備事業ホームページ

折尾地区総合整備事業

検索